［診療部］

脳神経外科

院長兼部長　石崎　律子

1 人員構成（2025年4月1日～2026年3月31日）

●常勤医

・部　長　石崎　律子
（1997年10月～1999年3月／2002年4月～）
日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医、指導医

・医　長　武田　直人（2017年3月～）
日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医、指導医
日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医

●非常勤医

光山　哲滝（第3土曜日）　赤川　浩之（毎週木曜日）

●顧問

大石　英則

●退職医

医長　今村　強（1996年4月～2026年3月）

2 診療体制（2026年3月31日現在）

	月	火	水	木	金	土
午前	石崎（第3·4·5週） 外来（第1·2週）	石崎	武田	赤川	今村	石崎（第1·5週） 武田（第2·4週） 光山※（第3週）
午後						

※脳外・脊髄外来

3 診療状況

外来診療は、脳卒中や頭部外傷などの救急診療だけでなく、頭痛やめまい、認知症、てんかんなど脳疾患全般について幅広く診療を行っている。また、2016年12月より脳卒中ケアユニット（SCU）を稼働させ、当初は6床から開設、現在は12床とし、24時間体制で手術からリハビリテーションに至るまで専門的治療を行っている。

当院の入院症例の特徴として、例年、脳血管障害と頭部外傷が大半を占めているが、今年度においてもこれらの疾患で救急入院となった症例がほとんどであった。手術疾患別に見ると、くも膜下出血や脳出血といった脳卒中症例と頭部外傷症例が入院、手術ともに増加していた。脳梗塞の治療に関しては血栓回収およびt－PAを用いた血栓溶解療法を行えるように体制を整えており、発症からの時間的拘束や急性期脳塞栓症・脳血栓症に限ると使用可能な症例は限られてしまうが、救急部・看護部や画像診断部の超急性期脳梗塞に対する認識が高く、良好な結果をバックアップしてくれている。頚動脈狭窄に対する治療は、以前は頚動脈内膜剥離術を主流に行っていたが、ここ数年間ではデバイスの発展や全身麻酔が不要であることより頚動脈ステント留置術をfirst choice とし、いずれの症例も良好な経過が得られている。症例数も増加しており、今後も引き続き循環器内科・放射線科と協力しプラーク評価を厳密に行うことで患者に適した治療を提供していく。

4 特に力を入れたこと

例年同様、画像診断部の多大な協力のもと、早期診断による治療の開始を円滑に行うことができた。入院患者のうち高齢者の占める割合が年々増加しており、特に脳梗塞や脳出血といった脳血管障害患者では心肺疾患の合併が多く、循環器内科との迅速な連携が重要であった。また、脳血管障害では、急性期治療に加え、後遺症に対する早期のリハビリテーションが重要であり、新横浜リハビリテーション病院・大倉山記念病院とのスムーズな連携もあり、地域完結型医療の実践が図れている。

5 今後の課題

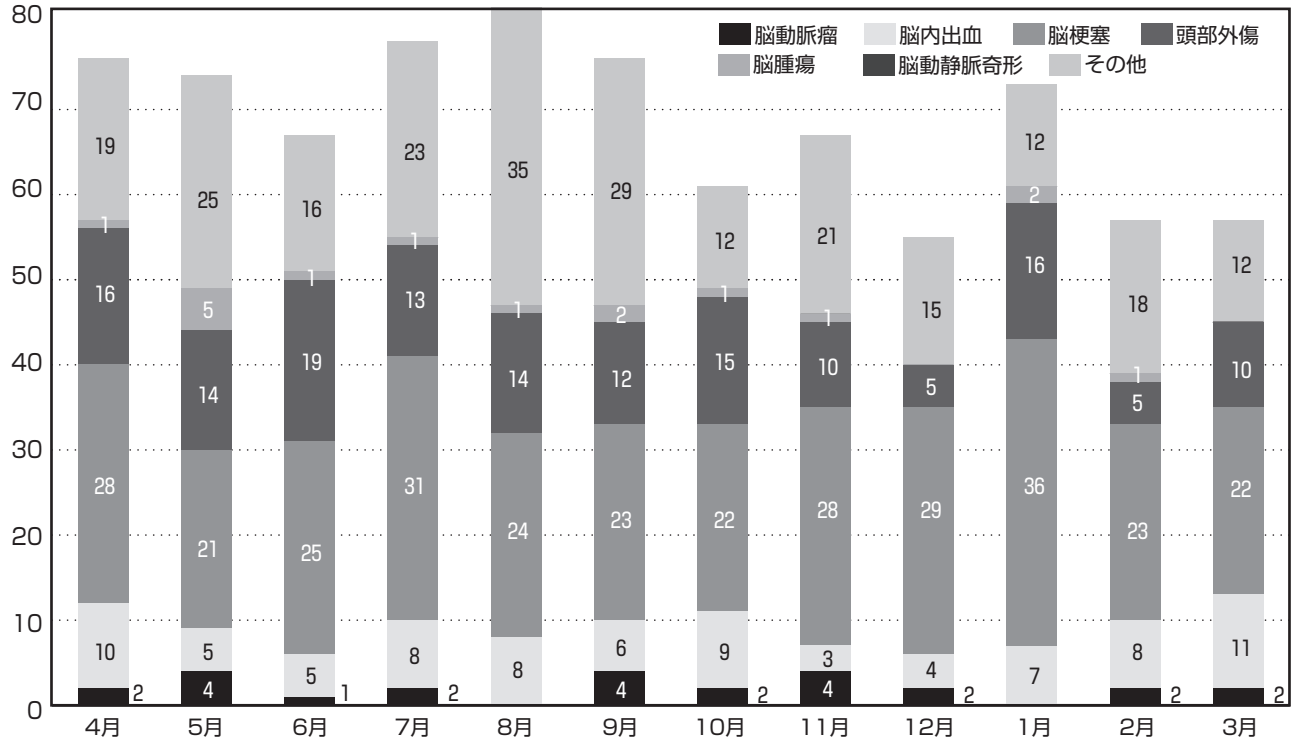
ＥＢＭによる質の高い医療やこれまでと同様、良好な手術成績を残し、かつ、新しいモダリティも利用し患者さまにとって最も有益で安全性の高い治療法を選択・実行できるように、他科とも協力し常に研鑽を積む努力を継続する必要があると考える。また、ＳＣＵを今まで以上に活用し、地域のクリニックの先生方とも密に連携し、急性期から回復期、慢性期まで、統一性のある治療の継続を図り、脳卒中の予後の改善や再発予防を目指していきたい。

●1日平均外来・入院患者数

外来／入院：医事課
単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度
外来	16.3	14.7	14.1	14.2	15.0	15.7	15.8	17.9	15.0	16.1	14.9	14.6	15.3	15.5
入院	33.4	33.4	35.0	37.5	30.7	29.2	26.6	30.1	26.8	38.4	27.8	26.5	31.3	26.6

●疾患別退院患者数



単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
脳動脈瘤	2	4	1	2		4	2	4	2		2	2	25	16
脳内出血	10	5	5	8	8	6	9	3	4	7	8	11	84	58
脳梗塞	28	21	25	31	24	23	22	28	29	36	23	22	312	291
頭部外傷	16	14	19	13	14	12	15	10	5	16	5	10	149	110
脳腫瘍	1	5	1	1	1	2	1	1	0	2	1	0	16	19
脳動静脈奇形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
その他	19	25	16	23	35	29	12	21	15	12	18	12	237	180
合計	76	74	67	78	82	76	61	67	55	73	57	57	823	679

●手術統計

	2025年度	前年度
脳腫瘍摘出	5	8
meningioma	1	3
glioma	2	2
metastatic BT	1	3
pituitary adenoma(TSS)	0	0
others	1	0
脳動脈瘤クリッピング	5	6
破裂動脈瘤	5	6
未破裂動脈瘤	0	0
AVM nidus摘出術	0	3
血管内手術	42	41
CAS(ステント留置術)	22	26
破裂脳動脈瘤	6	3
未破裂脳動脈瘤	5	1
TAE・TAV	1	2
血栓回収	7	7
PTA	1	2

単位：件

	2025年度	前年度
頚動脈内膜剥離術(CEA)	0	0
脳出血	16	14
急性硬膜外血腫	1	1
急性硬膜下血腫	9	3
外傷性脳内血腫	2	2
慢性硬膜下血腫	41	28
水頭症シャント術	5	5
脳室ドレナージ	0	1
頭蓋形成	3	3
外減圧	6	3
脊髄手術	0	0
その他	10	12
合計	145	130